

試験ブループリント

# Nutanix認定プロフェッショナル マルチクラウドオートメーション (NCP-MCA) 6.10試験



## 目次

作成者	3
寄稿者	3
<b>1. 試験</b>	<b>4</b>
1.1 試験の目的	4
1.2 問題数	4
1.3 受験料	4
1.4 合格スコア	4
1.5 目標と試験問題の関連性	4
1.6 言語	4
1.7 制限時間	4
1.8 試験のスケジュールリングおよび受験	5
1.9 認定トラック	5
1.10 再受験ポリシー	5
1.11 試験のセキュリティ	5
1.12 再認定	5
1.13 認定のメリット	6
<b>2. 対象者</b>	<b>6</b>
<b>3. NCP-MCA 6.10試験で対象となる目標</b>	<b>7</b>
3.1 はじめに	7
3.2 目標	7
セクション1 - オートメーションの概念と原則の説明と区別をする	7
セクション2 - セルフサービスと関連コンポーネントのデプロイと構成をする	10
セクション3 - ブループリント、ランブック、プレイブック、およびオートメーションの設定をバリデーションする	13
<b>4. NCP-MCA 6.10トレーニングの推奨事項</b>	<b>15</b>
4.1 コースの推奨事項	15
<b>5. リソース</b>	<b>16</b>
5.1 Nutanix Community Edition	16
5.2 テストドライブ	16
5.3 Nutanix Community	16
5.4 その他のマルチクラウドオートメーション関連リソース	16

## 作成者

Jeff Hall マネージャー - 技術認定開発

## 寄稿者

Aaron Wallace シニアスタッフグローバルプラクティスリード - クラウド&オートメーションおよびクラウドネイティブ

Ashish Sharma サービスプロバイダソリューションアーキテクト

Chris McMahon アドバイザリーポートフォリオアーキテクト - NCM

Chris Nelson プリンシパルポートフォリオアーキテクト

Dusty Lane シニアスタッフコンサルティングアーキテクト

Kelly Willis ソリューションアーキテクト

Ken Mueller スタッフコンサルタント

Lev Goronshtein アドバイザリーシステムエンジニア

Mohd Fawaz Akhtar シニアエンジニアII

Olivia Peachley シニアシステム信頼性エンジニア - スペシャリスト

Rickard Wendel スタッフカスタマーエクスペリエンスマネージャー

Rob Buchanan シニアシステムエンジニア

Ross Hunt シニアスタッフエンタープライズアーキテクト

Victor D'Gibbs アドバイザリーシステムエンジニア

### 免責事項 :

Nutanix認定プロフェッショナル - マルチクラウドオートメーション (NCP-MCA) 6.10試験ブループリントガイドは、NCP-EUC 6の認定資格を取得するために習得する必要がある目標について概要を説明します。本ガイドは、Nutanixが受験者のNCP-MCA 6認定資格の取得を保証するものではありません。本ガイドの情報はすべて、Nutanixの単独の裁量により、随時変更される可能性があります。

# 1. 試験

## 1.1 試験の目的

Nutanix認定プロフェッショナル - マルチクラウドオートメーション (NCP-MCA) 6.10試験は、Nutanix製品を活用してマルチクラウド環境の全体に渡ってインフラストラクチャとアプリケーションのデプロイメントを自動化する受験者の能力を評価します。これらのスキルと能力を習得していることを証明できます。

## 1.2 問題数

NCP-MCA 6.10試験は、75問の選択問題（単一回答、複数回答）で構成されています。

## 1.3 受験料

NCP-MCA 6.10試験の受験料は、100米ドルです。

## 1.4 合格スコア

この試験の合格スコアは3000です。スケールドスコア方式（換算方式の採点法）が用いられます。スコアのスケールは1000～6000です。スケールドスコア（換算スコア）は、試験のバージョンごとの試験問題の数と種類など、さまざまな要素を考慮した数式を使用して算出されます。

問題の数や種類は、同じ試験でもバージョンによって異なる場合があります。そのため、受けた試験のバージョンに基づいて、スケールドスコア（換算スコア）で全員に公平なスコアを提示します。

## 1.5 目標と試験問題の関連性

目標は、試験が何を評価することを目的としているかを要約したものです。目標は、Nutanix製品を活用してマルチクラウド環境の全体に渡ってインフラストラクチャとアプリケーションのデプロイメントを自動化する業務に関わる特定タスクに基づいて、試験開発者と対象分野の専門家によって策定されます。

最初の策定プロセスが完了すると、これらの目標は、外部の実務担当者のグループを用いて検証されます。最終的に、各目標に対する問題数が決定されます。目標ごとの問題数は、職務のタスクの重要度に直結しています。

## 1.6 言語

試験は英語と日本語で行われます。

## 1.7 制限時間

試験の制限時間は120分です。

## 1.8 試験のスケジュールリングおよび受験

この試験は、リモートの試験監督官によるリモートプロクタリング方式、または所定のテストセンターで受験する対面方式で実施されます。

リモートプロクタリング方式を選択する場合、試験に申し込み、有効な身分証明書を提示すると、各自の受験場所でウェブブラウザを使用して受験する方法について案内が送付されます。試験はリモートで監督されるため、ロックダウンされ、監視された、安全な受験環境が提供されません。

対面の試験を選択する場合、お近くのテストセンターを選択できます。試験当日は、政府機関発行の有効なIDを持参し、試験開始時間の15分前までにテストセンターにお越しくください。

## 1.9 認定トラック

NCP-MCA 6.10試験は、Nutanixマルチクラウドオートメーショントラックのコアコンポーネントです。この試験に合格すると、NCP-MCA 6の認定資格を取得することになります。

認定資格を取得するには、試験で合格スコアに達する必要があります。コースの受講は必須ではありませんが、Nutanixは、試験の目標を網羅するトレーニングを実施しています。推奨されるトレーニングコースの詳細は、[セクション4](#)をご覧ください。

### 1.10 再受験ポリシー

初回の受験で不合格となった場合、2回再受験できます。再受験まで7日間の待機期間が設けられています。初回の受験と同様に、試験ごとに受験料のお支払いが必要になります。再受験まで十分に準備の時間を確保し、最も合格を狙える状態で受験することをお勧めします。

注：3回受験すると、60日間受験できなくなります。その後、[university@nutanix.com](mailto:university@nutanix.com)宛てにメールで連絡し、受験回数のリセットを要請することができます。この間に、本ガイドと関連資料を十分に確認したり、推奨されるトレーニングを受講したりすることをお勧めします。

### 1.11 試験のセキュリティ

Nutanixは、試験のセキュリティポリシーに違反する受験者の認定を拒否する権利を留保します。試験教材を複製および再配布する、試験中に各種教材を使用する、試験問題を撮影しようと試みる、虚偽の身分証明書を使用して受験するといった行為が違反に該当します。受験者の身分証明書は、試験申し込みプロセスの一環として記録され、有効性が確認されなければ、受験は認められません。

### 1.12 再認定

Nutanix認定プロフェッショナル - マルチクラウドオートメーション6.10試験に合格し、NCP-MCA 6認定資格を取得すると、資格は3年間有効です。

認定のステータスを維持するには、既存の認定を更新するか、別の認定トラック内で同等のNCPレベルの試験に合格する、またはNCM-MCI試験に合格する必要があります。

### 1.13 認定のメリット

- ソーシャルメディアで共有可能なCredlyのデジタルバッジ
- シャツやマグカップなどを購入可能なNutanixストア (<http://store.nutanix.com>) の Certificationショップへのアクセス
- 将来の試験の開発にSMEとして参加する機会
- Nutanix .NEXTの参加割引

## 2. 対象者

NCP-MCA 6.10試験およびNCP-MCA 6認定資格は、Nutanix製品を活用してマルチクラウド環境の全体に渡ってインフラストラクチャとアプリケーションのデプロイメントを自動化した経験が約3ヶ月～6ヶ月ある方を受験対象者として想定しています。オートメーション開発者や、DevOpsエンジニア、およびプラットフォームエンジニアが一般的な合格者です。

Nutanixマルチクラウドオートメーション管理 (NMCAA) コースなどのトレーニングコースを受講すれば、合格できる可能性は高くなります。

## 3. NCP-MCA 6.10試験で対象となる目標

### 3.1 はじめに

受験者は、NCP-MCA 6.10試験を受ける前に、Nutanix製品を活用してマルチクラウド環境の全体に渡ってインフラストラクチャとアプリケーションのデプロイメントを自動化するために必要な知識とスキルを身につけておくことが推奨されます。また、受験前に、[セクション4](#)に記載されているトレーニングコースを完了することも推奨されます。

NCP-MCA 6の認定資格では、受験者は以下のソフトウェアバージョンでテストを受けます。

- セルフサービス : バージョン4.0
- Intelligent Operations : バージョンpc2024.3

### 3.2 目標

受験に先立って、受験者は以下の各目標を理解しておかなければなりません。各目標、受験者が使用経験を積んでおくべき関連ツール、目標と関連のある情報が記載された参考文書が以下に挙げられています。なお、一部の文書には、サポートポータルからアクセスする必要があります。サポートポータルで使用するアカウントの作成については、[こちら](#)をご覧ください。

目標はすべて、以下に挙げられていない他の製品文書でも言及されている場合があります。受験者は、関連するすべての製品文書を十分に把握しておくか、同等のスキルを身につけておく必要があります。

#### セクション1 - オートメーションの概念と原則の説明と区別をする

目標1.1 : 指定された手動プロセスを自動化するために必要な手順を判断して適用する

知識

- プロセスを自動化する論理的な手順を判断する
- 指定された図を踏まえて、セルフサービスを使用して事前プロビジョニングステップを完了する方法を判断する

参考文献

- [タスクの自動化 - プレイブック](#)
- [セルフサービスのブループリントの概要](#)
- [作成前、作成後、または削除後のタスクの構成](#)
- [セルフサービスにおけるタスク](#)
- [ブループリントまたはランブックにおける遅延タスクの構成](#)

- ランブックにおけるVM電源オフ、VM電源オン、またはVM再起動のタスクの構成
- プレイブックのトリガー

#### 目標1.2： イベント駆動型プレイブックを理解していることを示す知識

- トリガーの設定とアクションの定義をすることによってプレイブックを作成する方法を理解していることを示す
- プレイブックのステップを適切な順序で配置する（X-Playを使用）
- 複数の仮想インフラストラクチャリソースに適用するプレイブックを作成する
- セルフサービスのオートメーションとプレイブックを統合する

#### 参考文献

- ServiceNowとPrism Centralの統合（X-Playサポート）
- X-Playの統合
- イベントを使用したプレイブックの作成
- プレイブックのためのAutopilotの構成
- プレイブックを実行するためのユーザーなりすまし機能
- アラート一致基準を使用したプレイブックの作成

#### 目標1.3： プレイブックのコンポーネントを定義する知識

- プレイブックのアクションギャラリーとプレイを定義する
- アラートと手動トリガーを特定する
- サードパーティの統合を特定する

#### 参考文献

- プレイブックを使用したタスク自動化の概要
- プレイブックの作成
- イベントを使用したプレイブックの作成
- 手動パラメータの構成
- プレイブックのトリガー
- プレイブックを実行するためのユーザーなりすまし機能

- [セルフサービスからの事前シード済みアプリのデプロイ](#)

目標1.4 : 適切なオートメーションまたはセルフサービスのユースケースのためにカテゴリを実装する知識

- カテゴリを作成する
- カテゴリを構成する
- カテゴリの効果を説明する
- カテゴリとブループリントを踏まえて、ポリシーがVMに適用されるかどうかを推測する

参考文献

- [カテゴリの概要](#)
- [カテゴリの管理](#)
- [NutanixアカウントのためのVMの構成](#)
- [環境パッチの動作](#)
- [セルフサービスのブループリントの概要](#)
- [VM-ホストアフィニティポリシーの作成](#)
- [VM-ホストアフィニティポリシーの構成ワークフロー](#)

目標1.5 : セルフサービスを有効にしたプロジェクトの機能を特定する知識

- プロジェクトの作成方法を説明する
- プロジェクトでRBACを割り当てる方法を定義する
- クォータの作成方法を定義する
- プロジェクトの機能を特定する
- プロジェクトにインフラストラクチャを割り当てる方法を定義する

参考文献

- [セルフサービスにおけるプロジェクト](#)
- [プロジェクトへのユーザーの追加](#)
- [セルフサービスにおける環境](#)
- [プロジェクトにおける環境の構成](#)
- [スナップショットポリシーの作成](#)

- [クォータポリシーの概要](#)
- [セルフサービスが有効化されたPrism Centralへのインフラストラクチャの追加](#)

## セクション2 - セルフサービスと関連コンポーネントのデプロイと構成をする

目標2.1：セルフサービスを使用してインフラストラクチャとアプリケーションをデプロイするためのブループリントを作成する知識

- セルフサービスのブループリントを作成する正しい方法を判断する
- サブストレートを作成する正しい方法を判断する
- デイ2アクションを作成する正しい方法を判断する
- タスクを作成する正しい方法を判断する
- パッケージのインストール/アンインストールを構成する正しい方法を判断する
- スクリプト言語/機能ごとに使用するタスクのタイプを判断する
- ブループリント内でセルフサービスの組み込みマクロを利用する方法を判断する
- オートメーションの最適化に関連したアプリケーションのインフラストラクチャ要件の設定方法を判断する
- ブループリントでアプリケーションプロファイルを使用すべきかどうかを判断する

### 参考文献

- [セルフサービスのブループリントの概要](#)
- [作成前タスクのワークフロー](#)
- [クラスタとサブネットのためのパッチ適用](#)
- [スケジューラジョブの閲覧と更新](#)
- [ブループリントでのVMの構成](#)
- [ブループリントまたはランブックでのHTTPタスクの構成](#)
- [組み込みマクロ](#)
- [セルフサービスが有効化されたPrism Centralへのインフラストラクチャの追加](#)
- [アプリプロファイルの追加と構成](#)

目標2.2：セルフサービスで管理されたインフラストラクチャとアプリケーションについて理解していることを示す知識

- 管理対象アプリケーションのスケールアウト方法とスケールイン方法を判断する

- 管理対象アプリケーションのリタイア方法を判断する
- アプリケーションの管理方法を判断する
- タスクまたはランブックの実行方法を判断する

#### 参考文献

- スケールアウトするセルフサービスVMのセットアップ
- セルフサービスにおけるアプリケーション
- セルフサービスのロールベースのアクセス制御
- セルフサービスにおけるブループリントの構成
- セルフサービスにおける認証情報
- プロバイダアカウントのためのプラットフォーム同期
- VPC内のオーケストレーション用トンネル
- セルフサービスにおけるタスク
- セルフサービスにおけるランブック

#### 目標2.3：セルフサービスのデプロイメントに必要な構成の設定を特定する知識

- プロバイダの構成方法を説明する
- 様々なサポート対象アカウントにデプロイするためにセルフサービス内で環境をセットアップするための要件を理解している
- マーケットプレイスの機能を定義する
- エンドポイントの構成方法を説明する
- タスクライブラリ項目の作成方法を説明する

#### 参考文献

- セルフサービスのプロバイダ
- クラウドプロバイダのためのアカウント作成
- AWSアカウントの構成
- Azureアカウントの構成
- クラウドプロバイダのアカウントとプロジェクトの関連付け
- Nutanixのマーケットプレイスの概要
- セルフサービスをデプロイするための前提条件

- セルフサービスにおけるエンドポイント
- セルフサービスにおけるライブラリ

目標2.4：一般的なブループリントと、ランブック、およびガバナンス機能を特定する知識

- 組み込みマクロと、タスク、およびアクション/タスクの依存関係を特定する
- マクロの構文を認識する
- アプリケーションのプロファイルを特定する
- タスクのタイプを特定する
- 組み込みマクロと、タスク、およびタスクの依存関係を特定する
- 承認ポリシーを説明する
- スケジューラータスクを説明する

参考文献

- セルフサービスのブループリントの概要
- マクロの概要
- ブループリントまたはランブックでの実行タスクの構成
- ブループリントまたはランブックでのHTTPタスクの構成
- アプリプロファイルの追加と構成
- カテゴリの管理
- 承認ポリシーの概要
- スケジューラーの概要

目標2.5：セルフサービスの機能と要件を説明する知識

- セルフサービスの要件を特定する
- セルフサービスのユースケースを定義する
- 様々なサービスのデプロイメント方法を説明する

参考文献

- セルフサービスをデプロイするための前提条件
- セルフサービスを利用するための事前構成

- セルフサービスの概要
- セルフサービスにおける環境
- セルフサービスの主な機能
- アプリ管理機能にアクセスできる場所
- セルフサービスのデプロイメント

### セクション3 - ブループリント、ランブック、プレイブック、およびオートメーションの設定をバリデーションする

目標3.1：必要なプロジェクトとプレイブックの構成をバリデーションする正しい方法を判断する知識

- プレイブックと症状を踏まえて、構成または設計どおりに動作しない問題を説明する
- プレイブックを正しく構成する方法を判断する
- 要件を踏まえて、正しいプロジェクト構成を判断する
- 特定のプロジェクトのコンポーネントの目的と適切なユースケースを認識する

#### 参考文献

- プレイブックのサマリービュー
- プレイブックのサマリーレポートの生成
- セルフサービスにおける環境
- プロジェクトの管理
- セルフサービスが有効化されたPrism Centralへのインフラストラクチャの追加
- プレイブックの実行（手動トリガー）
- ブランチアクションの使用（条件付き実行）
- プレイブックのアクション

目標3.2：オートメーションに関連した問題の原因を特定する知識

- スクリーンショットを踏まえて、問題を解釈する
- ログを踏まえて、どのようなタイプの問題があるかを推測する
- ベストプラクティスに沿ってワークフローを最適化する方法を判断する
- 画像を踏まえて、問題のトリアージ/枠組化/予測をする方法を説明する

- 
- ブループリントまたはランブックのデプロイメントに関する問題の原因を特定する

#### 参考文献

- プレイブックを実行するためのユーザーなりすまし機能
- ブループリントまたはランブックでの実行タスクの構成
- ランブックにおける判断タスクの構成
- ブループリントまたはランブックでの変数設定タスクの構成
- プレイブックのサマリーレポートの生成
- クラウドプロバイダのアップロード
- ランブックの実行
- ランブックとブループリントのタスクにおけるエラーの処理

## 4. NCP-MCA 6.10 トレーニングの推奨事項

### 4.1 コースの推奨事項

Nutanixは、試験でテストされる目標に関するトレーニングを実施するコースを提供しています。配信方法、価格など、本コースの詳細は、[nutanix.com/training](https://nutanix.com/training)をご覧ください。

Nutanix X-PlayおよびNutanixクラウドマネージャー（NCM）のセルフサービスを使用してハイブリッドクラウド環境を自動化およびオーケストレーションするスキルをIT専門家が身につけられるように設計された、このダイナミックで魅力的なコースを通じて、アプリケーション自動化の可能性を最大限に引き出しましょう。

Nutanix®マルチクラウドオートメーション管理（NMCAA）コースでは、以下のようなテーマを扱います：

- コード不要の自動化：X-Playの直感的なアクションギャラリーと、プレイ、およびプレイブックを使用した強力なタスク自動化について学びます。
- 自信を持ったデプロイ：ブループリントと、ランブック、およびアプリケーションを作成・管理するためにNCMのセルフサービスをインストール、構成、および活用する方法を学びます。
- ブループリントの設計と公開：シングルVMおよびマルチVMのブループリントを作成し、組織全体でシームレスに利用できるように公開します。
- アプリケーションのライフサイクルの管理：アプリケーションのデプロイメントからリタイアまでを管理する実践的なスキルを身につけます。
- 問題の効果的な調査：X-PlayとNCMのセルフサービスを使用して一般的な問題を特定する方法と解決する方法を学びます。

本コースは、オンラインで受講できます。またはインストラクターによるトレーニングを受講できます。スケジュールや申し込み方法などの詳しい情報は、[www.nutanix.com/university](https://www.nutanix.com/university)をご覧ください。

このコースで提供される内容は、NCP-MCA 6.10試験に出題される目標の大部分（約80%）をカバーしており、これらの目標をしっかりと理解したい場合に推奨されます。Nutanix環境に更に触れておくことが強く推奨されていることにご注意ください。

## 5. リソース

### 5.1 Nutanix Community Edition

Nutanix Community Editionは、Nutanixクラウドプラットフォームをデプロイできる無料の製品です。試験の準備をするために、ソフトウェアをダウンロードし、ご自身の環境を構築するには、[こちら](#)をクリックしてください。

### 5.2 テストドライブ

[こちら](#)をクリックして、Nutanix Community Editionを活用するハイパーコンバージドテストドライブを2時間使用することもできます。

### 5.3 Nutanix Community

Nutanix Communityで世界中のクラウドビルダーとつながり、業界のITプロフェッショナルから学んで、経験を共有しましょう。Nutanix Communityに、Nutanix認定資格専用のページがあります。[こちら](#)からアクセスできます。

### 5.4 その他のマルチクラウドオートメーション関連リソース

その他のマルチクラウドオートメーションに関する豊富なリソースは[こちら](#)からご覧いただけます。

**NUTANIX**

+1 (855) 688-2649 | [certification@nutanix.com](mailto:certification@nutanix.com) | [www.nutanix.com](http://www.nutanix.com)

©2025 Nutanix, Inc. All rights reserved. Nutanix、Nutanixのロゴ、および本書に記載されているすべての製品名とサービス名は、米国およびその他の国におけるNutanix, Inc.の登録商標または商標です。本書で言及されているその他すべてのブランド名は、識別のみを目的としており、各所有者の商標である可能性があります。